

1. 活動報告（事務局 記）

—10月3日（日）降雨のため11時で中止しました。その間、池、湿地帯の藻、スゲの取り除き、蓮田のオオフサモ除去等のエコアップと看板のペンキ下塗りのみ行い、湿地帯の橋の仮補修も行いました。散策橋は15m位破損が目立ち、今後大幅な修復が必要となりました。

12月8日の来客の案内の件や勉強会（葦の駆除方法の協議）等も行いました。参加され16名の方、雨の中ご苦労様でした。

—10月17日（日）大人の観察会「どんぐり拾い」

宇部市地球温暖化対策ネットワークの「カーボン・オフセット事業」イベント“どんぐりひろい”を協賛し活動しました。市内から川上、琴芝、上宇部、西宇部、厚南、黒石、二俣瀬各小学校、西岐波中や小野田小からも計19名の児童の参加、他保護者、園児スタッフ総勢50名以上、会からも11名参加され盛大に協働活動を行いました。

—10月22日（金）・23日（土）

駐車場の草刈整備のため、緊急招集をかけ実施しました。

22日 吉富匡、渡辺正、西村、原田マ

23日 今井会長、藤村、内藤、渡辺正、金子、西村、松村、原田マ

各会員の参加によって刈り取りを完了しました。お疲れさまでした。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

—12月8日（15時）北九州市から見学会あり、後述事務局便りに詳細あり

◎ 行事

—10月31日（日）常盤公園湖水ホールにてエコフェアに参加

—11月 7日（日）維持活動（修復とエコアップ）

—11月20日（土）維持活動（修復とエコアップ）

3. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

今月はありません。

4. 大人の観察会 「どんぐり拾い」 天候：晴れ （西原 一誠 記）

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（略称：UNCCA）主催のイベント「どんぐり拾い」に宇部市と共に里山ビオトープ二俣瀬をつくる会も共催して、10月17日（日）の午後に観察会を行った。小学生17名、中学生2名、幼児9名、保護者22名の総勢50名の参加があり、スタッフとして、UNCCA7名、宇部市役所2名、ビオトープの会11名がお世話した。

13:30に開始され、挨拶と説明があった後、3班に分かれてそれぞれ班別に二俣瀬ふれあいセンターを出発し、昭和山→ビオトープ→センターの昭和山遊ロード二俣瀬を約1時間30分かけて歩き、どんぐりを探して拾って行った。コナラとスタジイはまあまあ拾う事ができたが、アラカシはまだ青く、木にはどんぐりを付けているが、下にはほとんど落ちていなかった。

センターに帰ってきて、拾ったどんぐりで、こま・やじろべえ・笛を作った。会員が先生になって、子供たちは親と共に一所懸命に取り組んで、満足のいくものが出来たようだ。布製のエコバッグにどんぐりプリントをしてアイロンで定着させることや、エコ学習トランクでの環境学習にも親子で取り組んでいたようだ。

最後に、拾ったどんぐりを持ち帰って家で育てる方法が説明され、予定通り16:30に終了した。天気にも恵まれ、参加した家族の親子は皆それぞれ満足されて帰って行かれた。

5. 会員の声 「二俣瀬木田の古城跡探索」part-4 （内藤武顕 記）

夢は限りなく追いつけるものなり。10月12日午前9時歯朶木丸城址特定のため、木田山脈の第三候補地を探索した。自然の泉、大本山の手前を右折して幻の城址を目指した。

ロマン探検隊の古城跡へのこだわりの一つに「歯朶（シダ）」というお城の名称の由来にあった。勝手ながら植物にかかわりがあると思っていた。杖を唯一の頼りに頂上を目指すも、気力だけでは駄目だと体力の限界を感じていた時、原田隊長はイノシシのごとく前進していった。理由は有った。

目の前の急こう配は緑一色、歯朶（シダ）の茂りが深々と広がっていた。私は落葉の古道に尻をつきひたすら隊長が下りて来るのを待った。この一枚のスナップが喜びを表現している歯朶が繁茂する山頂の平坦地から遠く旧山陽道を撮ったものです。

ビオトープの会員の皆様、歯朶の歴史と品種をひも解いて探索隊に楽しい夢を追い駆けさせて下さい。



歯朶木丸城跡と思われる場所

6. ビオトープ関連 (ビオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

(29) ネキトンボ (トンボ科、アカネ属) *Sympetrum speciosum spediolum* Oguma

全身真っ赤なアカトンボでまさに「赤とんぼ」の代表格ですが、あまり多くは見られません。ナツアカネと同じく頭、胸、腹とも赤いトンボですがナツアカネよりややずんぐり、特に♀は胴回りが太く赤みが強いので区別できます。さらに♂、♀とも翅の付け根が黄褐色～赤褐色に染まりトンボ全体が赤く見えナツアカネと全く違います、見れば違いが分かるとおもいます。

平地の木の枝先よりむしろ、少し山中に入った池の近くの木の枝先でよく見られます、一旦縄張りを張ると人が近づいても飛び去ることは少なく一度逃げてもまた戻ってきます。

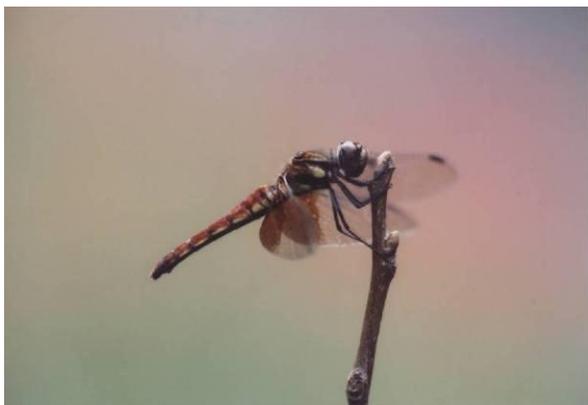
5月半ばより羽化が始まり11月過ぎまで見られますが、9月～10月が活動の最盛期のようにです。羽化は8月半ば頃まで続くようで、下図(図-4)のように9月1日に撮影した♂トンボはまだ黄色でした。また図鑑などによりますと、アカトンボの中でも赤化するのも一番早いトンボのようで、6月には赤化した個体が確認された記録もあるようです。成長するに従って変色するトンボの同定は捕獲し確認しないと分かりにくい種がありますので、要注意です。



8月5日に撮影した成熟♂



9月23日に撮影された成熟♂
赤が更に鮮やかに濃くなりつやが出ている



9月18日に撮影された成熟♀



9月1日に撮影した未熟♂
羽化して10日～2週間前後と思われる

7. 会よりの連絡事項（事務局より）

1) 12月来客の内容

北九州市環境局の生野（いくの）と申します。

この度、私どものボランティアさんの研修できらら浜自然観察公園を訪れようと計画しています。今回は2年後にオープン予定のビオトープのツアーガイド養成を兼ねて伺うことにしています。きらら浜のレンジャーさんに、是非二俣瀬のビオトープにも足を運んでみてはと紹介していただきました。

その中でホームページを拝見いたしました。駐車場は市民センターを利用とのことでした。

日程は12月8日（水）を予定しており、14時半くらいに到着すると思われま

2) 大人の観察会も先月の「宇部市地球温暖化対策ネットワーク」との協賛事業で今年は終了しました。テスト的にもなりましたが、検討し更により良い勉強会として充実した内容となるよう頑張らしましょう。ついては冬場は遅れ気味のエコアップ作業や修復作業が目白押しになっています。よろしくご参加下さるようお伝えいたします。

8. 編集後記

10月3日（日）の作業の日は、朝から雨。それも結構本格的に降っていたので、「今日は参加者が少ないのでは…」と思いつつも、現地に行ってみました。

東屋には思いのほか沢山の人が集まっていますが、「これだけ降っていたら作業は難しいねえ」と言いつつも、まずは今後の予定や確認事項、報告などを出し合いました。

それでも雨が止まないの、今年のどんぐりは不作だとか、葎の駆除の方法だとか、その後も話は広がっていききました。そんな何気ない会話のやりとりの中にも私なりの発見があり、皆さんの話の輪に入っているだけで楽しいひとときでした。

しばらくして雨が小降りになったので、それぞれエコアップや湿地帯の橋の補修など行いました。わたしは、ビオトープの看板が傷んできたので、ペンキで下塗りをすることにしました。この日は黒い雨合羽を着ていたのですが、作業が終わって見たら、雨合羽に白いペンキが飛び散って模様のようになっていました。自分ではそんなに派手に汚したつもりはなかったのですが…恥ずかしいかぎりです。ペンキだから落ちないし、まあ模様だと思えばいいかなあと思っていたのですが、私を見たみなさんがとても心配してくれて、原田さんなどは汚れを取ろうと布でゴシゴシしてくださいました。それでも汚れが広範囲で取りきれず、家に帰ってからすぐに洗濯をしたところ、きれいにとれました。ご心配かけてすいません。ささいなことですが、こんなふうにご心配いただけると、なんだかとてもあたたかい気持ちになります。作業の日は、作業しながら人とふれあえるのが楽しみでもあるのです。

あと、ビオトープに彼岸花が咲いていたのが印象的でした。今年の彼岸花は、いつもより咲く時期が遅かったのではありませんか？いつもより開花が遅かったせい、初めてビオトープで彼岸花に出会いました。季節によって違う顔に出逢えるのもビオトープの魅力ですね。

（ 中本 亜矢子 記 ）